

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.3(2021年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



『ハリネズミは月を見上げる』

あさの あつこ

この本は、全く性格の違う二人の少女が、悩みながら成長する姿を描いた青春小説です。有名な作者ですが、この本を出版する新潮社が作者名を伏せて読書アンケートを行ったところ、何と高校生から93%という驚異的な支持を得たそうです。

読者の声です。「私も今年高校生になり、新しい環境で自分らしく生きていこうと決めていたので、この作品に背中を押してもらったような気持ちになりました。私のようにこの作品に救われる人はたくさんいると思います。(高1)」

『六人の嘘つきな大学生』 浅倉 秋成

この本は大学生の就職活動、いわゆる「就活」をテーマにしたミステリーです。

ある人気 IT 企業の最終選考に残った6人の大学生たち。はじめ会社側は「6人全員の採用もあり得る」と言っていたのが一転、「採用は1人のみ」に変更したと6人は告げられ、さらには「6人の中で誰が最も採用にふさわしいかを議論しなさい」という指示が出されたところ・・・息もつかせぬ展開と謎解きの醍醐味、そして就活における心理戦が味わえます。

『クララとお日さま』

カズオ・イシグロ

2017年にノーベル文学賞を受けた日系イギリス人の作者。原作が英語ということで、日本語に翻訳されているこの本は「英文学」の棚に並びます。

語り手で主人公のクララは、人工知能ロボットです。こう書くと、近未来を描いた普通のSFを想像するでしょうが、クララは「お日さま」を神様のように信仰する気持ちや人間への気遣いや思いやりがあります。よくあるSFの視点ではなく純文学の観点から、人間やAIって何だろうと深く考えさせられる作品です。

『ドラゴン桜 2』 三田 紀房

東大というと雲の上というイメージがありますが、東大生の英語のTOEICの平均点は688点。国際部門の仕事をおこなすには700点は欲しいと言われてますので、そんなに高くはないですね。医師の国家試験の合格率も全国55位と低めです。つまり東大生の多くは決して「天才」ではなくて、受験に対して熱意を持ち、合理的な攻略法で受験を制したと言えるでしょう。そんな東大を目指す高校生たちを話題のこの漫画で読んでみませんか？

『謎検 対策問題集 2021春』 SCRAP

突然ですが問題です。「こおり⇒みず、ひがし⇒たば のとき、ほん⇒？」解けましたか。漢字で書けば分かり易いと思いますが、「氷⇒水、東⇒東」ってことは「左の漢字から一画引いたら右の漢字になる」・・・そう、答えは「本」から一画引いた「木」ですね。これは「リアル脱出ゲーム」などを運営している会社「SCRAP」が行う謎解きの検定試験「謎検」です。2020年に行われた試験の第1問で、受験者の98.1%が正解の易しい問題みたいです。試験を受けなくても頭の体操にいかが？生徒の選定委員が選んだ本です。

『面白くて眠れなくなる植物学』 稲垣栄洋

桜前線という言葉があるように、ある地域の桜はすべてが一気に開花しますよね。隣の家の桜が咲いたのにウチのは・・・ってことはありません。「あれだけの数の桜にどうして個体差が少ないのか？」って疑問に思ったあなたは学問に向いてるかも。実は、日本中のソメイヨシノはすべてが一つの桜のクローンなんです。続きは、図書館で。



『プログラマーの一日』

WILL ども知育研究所

スマートフォンやゲーム、車の自動ブレーキなど私たちの身の回りの多くの商品にはプログラマーの仕事が関わっています。この本には実際のプログラマーが数多く登場し、一日の仕事ぶりを詳しく解説してくれます。

『世界史は化学でできている』 左巻健男

「鉄血宰相」という異名を持つプロイセンのビスマルク。「ドイツ統一という問題は鉄と血によってのみ解決される」という主旨の演説をしたことで、彼にはこの名が付けられました。でも、「血」は戦争のことだとして「鉄」とは何のこと？答えは「大砲」です。実は、19世紀にはそれまでの青銅にかわって鋼鉄製の砲が登場していたのです。鉄の大砲は熱や圧力に強く、プロイセン陸軍の大砲は3000発を撃っても壊れないほど頑丈でした。

化学に詳しくなれば、もっと歴史が楽しくなる、そんな本を少しめくってみませんか。

『アトピーを自力で治す最強事典』

アトピー性皮膚炎は1980年代から子どもに急増し、今では大人になってからでも発症するアレルギーの病気になりました。しかし原因も未解明の部分が多く、病院に行っても治療法もさまざま誰の意見を信じれば良いのか、迷ってしまいますよね。そんな風に困った時は、この本の8人の専門家の意見をぜひ読んでみて下さい。

今号のひとこと

可能性は1%あるんですね？じゃあ、僕はその1%を信じます。※

三浦知良 (1967-)

「リーグ戦でゴールを決めた最年長のプロサッカー選手」としてギネスにも記録されている、「キングカズ」こと三浦選手。54歳の今も現役のプロサッカー選手ですが、高校1年の時に「高校を退学してサッカー王国・ブラジルに留学したい」ということを高校の監督に話したところ、「人間100%はないが、お前は(ブラジルでプロになるのは)99%無理だ。」と言われたので、上のように先生に言い返したそうです。その後ブラジルで夢を叶えた三浦選手の、常に前進する精神、「1%の望み」に突き進む心が彼にとっての原動力なのでしょうか。

※『カズ語録 不屈の魂が身につく218の言葉』より